

生涯学習課長の仕事宣言！ 進行管理表

生涯学習課長 佐藤敦美

①重点施策項目名	留守家庭児童の居場所づくりの充実を図ります
②目標値	放課後児童クラブ待機児童数 (H29) 通常期0人長期0人 (H32) 通常期0人長期0人
③今年度の取組方針	保護者の就労等により、自宅に保育する大人がいない児童に対し、放課後や土曜日、長期休業中などに、安心して過ごすことができるよう放課後児童健全育成事業（学童保育）の充実を図ります。そのために、運営団体を支援し、また民間事業者の放課後児童クラブ新設についても支援を行うことで、放課後児童クラブの環境整備、質の向上を図りつつ、児童の利用人数の拡大を図ります。また、「なかよし会」事業の直営化に向け、制度や体制の整備を進めます。
④上半期の取組内容	放課後児童クラブについては、市内8小学校において「なかよし会」を運営する鳥栖市放課後児童クラブ運営協議会と、旭小校区において「アフタースクールあいあい」を運営する社会福祉法人和貴福祉会、田代小地区において「にじのひろば」を運営する社会福祉法人健翔会に対し、補助金を交付しました。 また、特に利用希望が多い長期休暇の対応として夏休み期間中に市内全校区の待機児童を対象とした放課後児童クラブ「夏休みなかよし会」の開設・運営を支援し、待機児童の解消に努めました。
⑤下半期の取組内容	麓小学校区に新たに放課後児童クラブの開設を予定している社会福祉法人慈光保育園に対し、開設に向けて助言、支援を行いました。
⑥数値目標の結果	放課後児童クラブ待機児童数 通常期54人（平成29年5月現在）（民設民営を含む）
⑦成果と課題（次年度に向けて）	なかよし会については直営化に向け、関係機関と調整を図り、スムーズな移行を進めます。 待機児童解消を図るため、支援員の確保に努め、また利用希望の多い長期休暇は臨時開設での児童受け入れを行います。さらに民設の放課後児童クラブへの支援を行い、新規設置に向けても働きかけを行います。

◇所管部長の指示

上半期

年度当初や夏季休暇中においても待機児童が削減していけるよう努めること。

下半期

待機児童が一人でも削減していけるよう努めること。

生涯学習課長の仕事宣言！ 進行管理表

生涯学習課長 佐藤敦美

①重点施策項目名	文化財の保護を図ります
②目標値	伝統行事や民族芸能の保存・継承に対する補助等の件数 (平成29年度末) 7件 (平成32年度末) 7件
③今年度の取組方針	本市の歴史や文化を理解する上で欠くことのできない市民共有の貴重な歴史的文化遺産である文化財を保護し、後世に伝えていくため、史跡等の保全管理、民俗芸能の保存・継承に対しての補助、歴史的文化遺産の調査・記録に取り組みます。 また、勝尾城筑紫氏遺跡の整備に向けて葛籠城跡地区及び筑紫氏館跡地区の民有地の公有化を実施します。
④上半期の取組内容	国・県・市指定文化財を中心に史跡・民俗芸能等に対し、所有者や地元団体に補助金の交付等を行い保存・継承に努めました。 史跡等については、下草刈りや雑木の伐採、案内板の点検等を行い、保全管理に努めました。 また、葛籠城跡地区及び筑紫氏館跡地区の公有化事業の取り組みとして、対象地の地権者との買収交渉を進めました。
⑤下半期の取組内容	上半期に引き続き、民俗芸能に対し地元団体に補助金の交付を行い、その保存に努めました。 史跡等の保全管理についても、下草刈りや雑木の伐採、案内板の点検補修等を行い、見学者の利便を図りました。 また、葛籠城跡地区及び筑紫氏館跡地区の公有化事業については、地権者の方の同意が得られない部分があり、当初予定していた買収計画を下回る結果となりました。
⑥数値目標の結果	伝統行事や民俗芸能の保存・継承に対する7件の補助等を計画通り進めました。 葛籠城跡地区及び筑紫氏館跡地区の公有化進捗率は、葛籠城跡地区が81.5%、筑紫氏館跡地区が97%となりました。
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	勝尾城筑紫氏遺跡の保存整備については、引き続き地権者の方の理解・協力を得るよう努め、公有化、さらには次のステップに向けた準備を進めてまいります。

◇所管部長の指示

上半期

勝尾城筑紫氏遺跡史跡等の保全管理、民俗芸能の保存・継承に取り組むこと。

下半期

勝尾城筑紫氏遺跡史跡等の保全管理、民俗芸能の保存・継承に取り組むこと。

生涯学習課長の仕事宣言！ 進行管理表

生涯学習課長 佐藤敦美

①重点施策項目名	文化財の積極的な活用を図ります
②目標値	展示会・見学会・講座等への参加者数（延べ） 現状値 4,043人 ⇒ 平成29年度末 4,300人 〔後期基本計画期間〕 平成26年度 3,668人 ⇒ 平成32年度末 5,000人
③今年度の取組方針	市民が貴重な文化遺産を身近に感じる機会を提供するため、史跡等の公開、図書館常設展示の充実を図り、小中学校歴史学習等の積極的な支援を行います。 また、古文書講座や歴史講座等の開催や所蔵文化財の集約作業及び展示収蔵施設の充実を進め、郷土の豊かな歴史や文化財への関心を高め、鳥栖市民であることに誇りを持つことができるよう普及啓発に努めます。
④上半期の取組内容	勝尾城筑紫氏遺跡春の見学会を4月23日に開催し、103人の参加がありました。 市立図書館における文化財の常設展示は、2回の展示替えを行い、「市内出土の埴輪」「鳥栖空襲」をテーマとした展示を行いました。 文化財を活用した学習支援メニューを作成し、各小中学校に提示して積極的な歴史学習等の支援を開始しました。 市民を対象にした古文書講座、鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座、及び「ふるさと元気塾」を年間計画に沿って実施しました。
⑤下半期の取組内容	勝尾城筑紫氏遺跡の秋の見学会を11月26日に開催し、46人の参加がありました。また、268号機関車の一般公開、市立図書館における文化財の常設展示、市民を対象にした古文書講座、鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座、「ふるさと元気塾」の実施、勝尾城筑紫氏遺跡の保存整備をテーマとしたシンポジウムを開催するなど広く郷土の歴史・文化や文化財の周知・理解に努めました。
⑥数値目標の結果	約4,500人の展示会・見学会・講座等への参加がありました。
⑦成果と課題（次年度に向けて）	各種の事業は概ね計画どおりに進展しました。今後は小中学校教育現場での文化財を活用した学習活動支援について積極的な取組を進めるとともに、市民対象の講座について、特に小中高生など若年層の参加を増やしていく方策を検討・実践します。

◇所管部長の指示

上半期

文化財の調査保存から、文化財を活用した展示公開及び講座などの充実に努めること。

下半期

文化財を活用した展示公開及び講座などの充実に努めること。